

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名 <b>バイオレント・イラプション</b>	投球者 <b>徳江 和則</b>	センター <b>平和島スターボウル</b>
RG <b>2.460</b>	△RG <b>0.040</b>	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

**テストボール：バイオレント・イラプション**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  4 インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤 番

**比較対照ボール：イラプション**

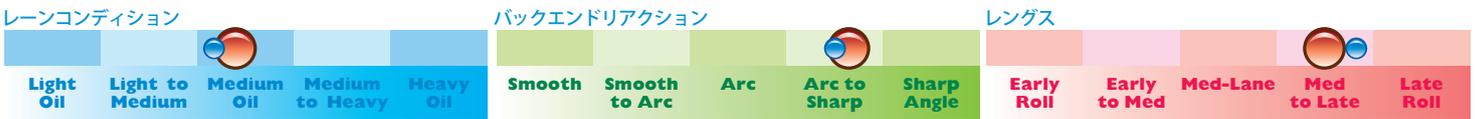
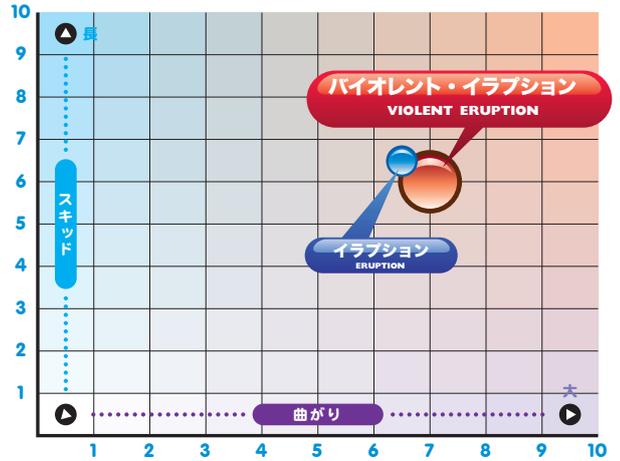
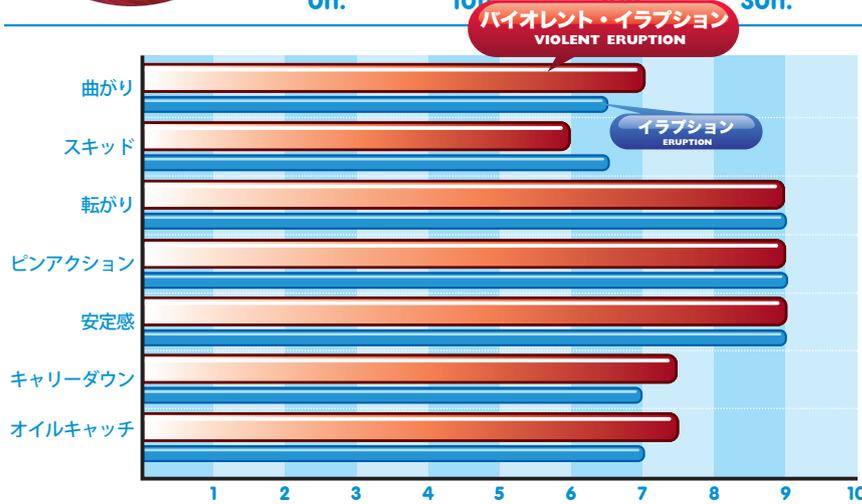
フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  4 インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤 番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



### ボールの評価

コロムビア社がイラプションに求めた「ミッドプライスにおける性能と質」は、転がり続ける持続性と入射角の強化をもって新たなる局面へと移行しました。

「VIOLENT」というネーミングで読み取れるように、初代イラプションのフリップ状のリアクション性能から角がでるリアクション性能へと変化させることで入射角を強化。メリハリのある性能で攻撃的にラインを攻めるボールとしてイラプションでみられたように、この領域を制覇する宿命を背負いVIOLENT ERUPTIONは生まれました。

私はまずこのVIOLENT ERUPTIONを投球し感じたのは、「コア及び数値の変化は少ないが、リアクション性能が一変した」ことでした。コアが同じで数値の変化も少なければリアクション性能はある領域で似た性格を生み出しますが、キャッチのイメージを変えずにフリップ状から角がでるリアクションイメージの変化は、それほど簡単なことではありません。卓越された技術があってこそ、VIOLENT ERUPTIONは生まれたのです。柔らかいフリップ状からシャープな角がでるリアクション性能へと変化したことで、初代イラプションとは異なったアジャストを得ることができ、入射角が足らなかった方にはこのボールは強力な武器としてあなたを支えてくれるでしょう。ミディアムからミディアムライトなコンディションで、文字通り「激しい噴火」を思わせるレッド/オレンジの配色のVIOLENT ERUPTIONは転がり続ける特性と攻撃的な性格を持ち合わせ、初代イラプションがそうであったように「この領域で誰もが手に持つ信頼性の高いボール」となることでしょう。

### 特記事項

スキッドとキャッチ、ピンアクションに至るまでの評価は初代イラプションを凌ぐ高いレベルでの仕上がりで、後半戦で攻撃的にピンを倒していくボールに仕上がっています。